

むらたまち 議会だより



新しく整備された遊び場(村田幼稚園)

- 令和8年第3回定例会 … 2
- ズバリ!町政を問う【一般質問4人】 … 5
- 常任委員会レポート … 10 他

Vol. 151
2026.8.1.

予算1445万円を追加

まちづくり振興課 総務管理費

委託型地域おこし協力隊支援業務委託料

732万2千円



現在の地域おこし協力隊の活動の様子

地域おこし協力隊ってなに？

人口減少や高齢化などの進行が著しい地方で、地域外の人材を積極的に誘致し、その町の特徴や地域性を生かし、維持・強化等を図っていくことを目的とする取り組みです。

■承認第5号 専決処分事項の報告承認について〔令和7年度村田町一般会計補正予算（第8号）〕

A

地域おこし協力隊強化のため2名分732万2千円を増額。当初予算に今回の補正を含めると約3千万円、9名分になる。

Q

企画費の地域おこし協力隊の委託料について、増額された内容。

A

民間事業者の造成工事に伴う沼辺地区日向前遺跡に係る発掘調査への県職員の派遣費用。調査費用は原因者負担となるため、受託収入として民間事業者から同額が町に納入される。

Q

歳出で計上されている文化財保護費の費用弁償132万6千円と、歳入で計上されている文化財発掘調査受託収入について、業務の詳細と歳入歳出予算の関係性は。

■議案第24号 令和8年度村田町一般会計補正予算（第1号）

6月定例会議案

質疑応答（抜粋）

令和8年第3回定例会は、6月10日から12日までの3日間にわたり開催されました。今回の定例会では令和8年度村田町一般会計補正予算1件、専決事項の承認7件、条例の一部改正2件、特別会計補正予算1件、工事請負契約2件、財産取得1件、報告4件が提案されました。一般質問は4人の議員が町の考えや対応について質しました。

生涯学習課 社会教育費

発掘調査にかかる費用弁償

132万6千円



沼辺地区日向前発掘調査

日向前遺跡の発掘調査については、民間の工場造成工事に伴う届け出があったことにより町が調査を進めている。

A

当初予算として1億5千万円を見込んでいたが、ポイントの制度変更や人気返礼品のある自治体への偏りがあるため。貴重な財源であるので、令和8年度も上回るよう検討していく。

Q

ふるさと納税寄附金480万円減額となった要因は。

A

本町が所有している宮城交通株式会社の株式を当該企業の再編に伴い、証券会社等を介することなく、直接名古屋鉄道株式会社と契約を締結し、売却した。

Q

有価証券売却収入994万1千円について、証券会社または仲介業者を通じて売却したのか。

A

3月補正予算で修繕費を計上したが、部品等の調達に時間を要したため繰り越しとした。

Q

スクールバス修繕業務が繰越明許費となった理由は。

A

学校行事やインフルエンザによる臨時休業に伴う食数の減と幼稚園の副食費の減免等により減額した。

Q

給食センター費の歳入において、給食事業収入が減額された理由は。

令和8年第3回 定例会の議案と採決結果

議 案 名	採決結果
専決処分事項の報告承認	
■承認第2号 村田町町税条例の一部を改正する条例 地方税法の改正に伴うもの	承認 賛成11：反対0
■承認第3号 村田町国民健康保険税条例の一部を改正する条例 子ども子育て支援法の改正に伴うもの	承認 賛成11：反対0
■承認第4号 村田町介護保険条例の一部を改正する条例 介護保険法の改正に伴うもの	承認 賛成11：反対0
■承認第5号 令和7年度村田町一般会計補正予算(第8号) 歳入歳出予算の総額から歳入歳出それぞれ5098万2千円を減額するもの	承認 賛成11：反対0
■承認第6号 令和7年度村田町国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号) 歳入歳出予算の総額から歳入歳出それぞれ2億8611万9千円を減額するもの	承認 賛成11：反対0
■承認第7号 令和7年度村田町後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号) 歳入歳出予算の総額から歳入歳出それぞれ259万3千円を減額するもの	承認 賛成11：反対0
■承認第8号 令和7年度村田町介護保険事業特別会計補正予算(第4号) 歳入歳出予算の総額から歳入歳出それぞれ1355万5千円を減額するもの	承認 賛成11：反対0
条例（一部改正）	
■議案第22号 村田町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	原案可決 賛成11：反対0
■議案第23号 村田町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例補正予算	原案可決 賛成11：反対0
補正予算	
■議案第24号 令和8年度村田町一般会計補正予算(第1号) 歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ1445万1千円を追加するもの	原案可決 賛成11：反対0
■議案第25号 令和8年度村田町国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号) 歳入予算の財源の組み換えをするため金額を補正するもの	原案可決 賛成11：反対0
工事請負契約の締結について	
■議案第26号 工事請負契約の締結について 工事名 令和7年度町道関場線橋梁改築工事 契約金額 1億5400万円 契約の相手方 株式会社 大愼組 代表取締役 大沼 佑	原案可決 賛成11：反対0
■議案第27号 工事請負契約の締結について 工事名 令和7年度薄木地区産業用地造成工事(第2工区) 契約金額 2億3474万円 契約の相手方 株式会社 大愼組 代表取締役 大沼 佑	原案可決 賛成11：反対0
財産の取得	
■議案第28号 財産の取得について 財産の名称 特定中型乗用自動車(スクールバス) 取得金額 4809万5450円 取得の相手方 大和リース株式会社 仙台支社 支社長 中井川 薫	原案可決 賛成11：反対0
報告	
■報告第4号 繰越明許費繰越計算書について〔令和7年度村田町一般会計〕	—
■報告第5号 繰越明許費繰越計算書について〔令和7年度村田町宅地造成事業特別会計〕	—
■報告第6号 令和7年度村田町上水道事業会計予算繰越計算書について〔建設改良費繰越〕	—
■報告第7号 令和7年度村田町下水道事業会計予算繰越計算書について〔建設改良費繰越〕	—



● 菊地 睦夫 議員 (6ページ)

- 1.地域公共交通の現状と将来を見据えた体系の構築について

● 山家 大 議員 (7ページ)

- 1.町民体育館の利用環境と健康づくり

● 高橋 勝 議員 (8ページ)

- 1.世界的なエネルギー情勢変化が町民生活に与える影響と支援対策は

● 山家 寛二 議員 (9ページ)

- 1.住民の安心・安全を守るためのクマ対策について

一般質問とは？

一般質問とは、議員が町長や教育長などの執行機関に対し、事務の執行状況や将来の方針などについて、所信や疑問を質すこと、あるいは報告や説明を求めることを言います。

地域公共交通の現状と将来を見据えた体系の構築について



きくち むつお
菊地睦夫議員

村田町では、大河原町にある「みやぎ県南中核病院」への通院に対し、町指定業者のタクシーを利用する場合、その料金の一部を助成する事業を実施している。

この制度は、特に高齢者や運転免許を持たない方など、通院に困難を抱える町民の移動手段を確保し、地域福祉の向上に大きく貢献している。

このような事業を担う交通事業者は、全国的に深刻な人手不足やドライバーの高齢化という厳しい環境の中にあり、村田町においても同様と伺っている。

Q「みやぎ県南中核病院通院等タクシー利用助成事業」の現状効果は

A 安心して通院等ができる環境の維持に努める

質問1

利用実績、登録者数、現場のタクシー事業者や利用者からの反響や具体的な効果の把握はしているか伺う。

町長答弁

登録者数や利用実績は着実に推移しており、交



みやぎ県南中核病院

通事業者や利用者からの大きな要望等はない。

通院機会の確保は、重症化予防や健康寿命の延伸の効果が期待されることから、今後も交通事業者と連携し制度の安定的な運用に努めていく。

Q 将来を見据えた持続可能な地域公共交通へのデジタル技術の活用は

A 利用者の利便性や費用対効果を踏まえながらAI配車システムなどの先進事例について慎重に検討の必要がある

質問2

全国AI配車システム等のデジタル技術を「デマンド型乗合タクシーくらりん号」にも導入し、地元事業者と連携して先進事例の情報収集や検討を始める考えがあるか、町長の見解を伺う。

町長答弁

本町のデマンド型乗合タクシーは高齢者の利用が多く、現在も電話予約を基本としている現状を踏まえ利用者の利便性に配慮し、費用対効果も考えながら慎重に検討していく。



デマンド型乗り合いタクシー



やんべ だい
山 家 大 議員

町民体育館 全世代が親しめる 健康増進の拠点へ

Q 町民体育館の役割と運動習慣の定着は

A 社会体育の基幹施設
地域を支える重要拠点

質問 1

健康増進と運動習慣の定着に向けた体育館の役割をどう捉えているか。

教育長答弁

普及を図る社会体育の基幹施設である。楽しみながら継続的に運動できる場としてだけでなく、住民の交流を生む地域コミュニティの重要拠点と位置付けている。



Q 指定管理者導入後の利用実態と利便性は

A 運営の効率化と利便性向上により利用者増

質問 2

制度導入後の利用状況や利用形態の変化をどのように認識しているか。

教育長答弁

現場での申請受付が可能になるなど利便性が向上した。利用者も増加しており、事業運営の効率化と稼働率向上が図られている。

追質問

現在の利用は団体が中心か。また町内・町外団体の利用割合は。

生涯学習課長答弁

窓口申請の利便性から団体利用が大部分を占めている。町外利用者の割合は令和7年度で約12・2%である。



指定管理者制度を導入した町民体育館

Q 全世代が気軽に運動できる環境づくりを

A 定期教室の拡充と個人利用枠の創設を検討

質問 3

子どもから高齢者まで、日常的に気軽に運動へ親しめる環境づくりをどう考えているか。

教育長答弁

児童対象の体力向上事業や、成人・高齢者向けのリラククスヨガなど多彩な定期教室を開催している。

追質問

運動習慣のない層や親子が気軽にスポーツを試せる環境や、働く世代が行きやすい平日夜間のニーズへの対応が必要ではないか。

生涯学習課長答弁

未経験者や親子が参加できる機会を順次拡大していく。夜間は団体利用が主ではあるが、空き時間を活用した個人枠の設置を指定管理者と検討する。

追質問

近隣自治体の事例調査や、今後の具体的な調査・検討方針は。

生涯学習課長答弁

近隣自治体の個人料金設定やSNS活用事例は調査済み。今後はアンケート等を通じて町民ニーズを精査し、時代に合わせた利用環境の改革を検討していく。

世界的なエネルギー情勢変化が町民に与える影響と支援対策は



たかはし まさる
高橋 勝 議員

原油やナフサ、農業用肥料などの輸入が激減しており、既に物価高騰や供給不足が全産業に深刻な影響を与えている。本町においても具体的な影響が表面化している。

Q 町独自の支援策は

A 物価高騰や経済に与える影響を注視して検討する

質問1

国は電気・ガス料金の支援策など検討しているが、町として独自の支援策を検討しているのか、現時点での取り組みについて伺う。

町長答弁

町独自の支援策については、国の動向を見定め、物価高騰や経済に与える影響を注視したうえで、町民負担緩和、支援対策に対応できる取り組みを検討する。

Q 国に対しコロナ禍と同様の強力な経済支援策を要請すべきでは

A 各自治体共通の課題として要望を行っている

質問2

町内の中小企業や雇用を守るため市町村などを通じて国に対し、コロナ禍と同様の強力な経済支援対策を要請すべきと考えるが、町の考えや対応策は。

町長答弁

本町としても、現在の国際情勢や経済状況を踏まえ、地域経済や雇用への影響は注視している。宮城県町村会は、エネルギー価格や物価高騰への対応、中小企業支援、経済対策などについて、各自治体共通の課題として要望を行っている。



村田小学校屋上太陽光パネル

Q 公共施設などへの電力供給は再生可能エネルギーに切り替えを

A 再生可能エネルギーの活用拡大について検討する

質問3

公共施設などの電力供給は、再生可能エネルギーへの切り替えなど検討すべきでは。

町長答弁

具体的な施策として、村田小学校・役場本庁舎・西庁舎・東庁舎屋上に専用の太陽光パネルを設置している。一部ではあるが電気自動車やプラグインハイブリッド車を導入している。引き続き公共施設など照明LED化、空調設備の高効率機器への更新など省エネルギー対策を順次進めて、再生可能エネルギーの更なる活用拡大について検討する。



有料資源ごみ袋

追質問

スーパードで資源ごみ袋が一部売り切れのところがあり、買い占めがあると思うが。

町民生活課長答弁

仙南広域管轄のごみ袋が不足するということは今のところ生じていない。4月21日付で3か月間の在庫は確保されている。



やんべ かんじ
山家寛二議員

住民の安心・安全を守るための クマ対策について

Q 本町のクマ対策は

A 『指定管理鳥獣対策事業』を活用し誘因木伐採事業を行う

質問1

本町では、これまでどのようなクマ対策を講じてきたのか、また今後の課題はあるのか。

町長答弁

村田町公式アプリLINEで注意喚起を図り、クマ出没件数が多い地域には職員による現場確認、爆竹配布、柿や栗など誘因木伐採に取り組んだ。

引き続きクマ対策事業については、国・県に対し事業要望をしていく。

追質問

クマが民家に居座った場合の町・猟友会・警察との連携体制を伺う。

農林課長答弁

緊急銃猟マニュアルに基づき、速やかに町・猟友会・警察が現場を確認し、周辺住民への注意喚

起を行う。

追質問

クマが民家や物置に入った場合、住民自身が落ち着いて対処できる行動マニュアルを作成する考えはあるか。

農林課長答弁

近年は住宅侵入の事例が増えていることから、クマが住宅に居座った場合の避難行動マニュアル作成について検討している。



クマ警戒看板

追質問

町は、クマ目撃情報をLINE登録をしていない方にどのようにして情報提供するのか。

農林課長答弁

情報発信については、新たに五月からkhhb東日本放送が提供しているテレビ回覧板でクマ出没情報を発信している。

Q オルレコース利用者の安全対策は

A 本コースでクマ被害、クマ目撃情報も無い

追質問

県内外から多く利用されているオルレ村田コースでのクマの安全対策を伺う。

まちづくり振興課長答弁

オルレコースのスタート及びゴール地点である道の駅村田で、クマ除け鈴や、ラジオ携行を利用者にお願している。また、クマ接近を抑制する匂い袋をコース内に設置するなどして、利用者の安全確保に努めている。

Q 通学児童生徒に対する町の対応は

A クマ出没した場合は、必要に応じ臨時休業、警察へのパトロールを依頼

質問2

児童、生徒の通学時の安全確保はどのように行っているのか、また課題

はあるのか。

教育長答弁

本町教育委員会で作成したクマ対応マニュアルを各学校に送付し保護者に対しても周知を図り、子どもたちの安全確保に取り組んでいる。

課題としては、登下校時の児童生徒にクマとの遭遇を予防することが重要と考え、単独行動を控え危険な時間帯や場所を回避することなどを指導していく。

追質問

クマ目撃情報が7件と多い中、本町全域の児童生徒にクマよけ鈴の配布はあるのか。

教育総務課長答弁

登下校時の児童生徒とクマとの遭遇を予防する観点から現在、町内の小中学校に通う児童生徒全員にクマよけ鈴配布を順次進めている。

(現在、教育委員会より町内全校児童生徒にクマよけ鈴が配布されている。)

リポート

会計について (5月12日実施)

総務常任委員会

会計課は、地方自治法により会計管理者（会計事務の責任者）の職務を補助するもので支出命令等の審査や現金の収納（収入・支出）及び保管並びに記録管理を行い、決算の調製を行っている。

村田町では公金の効果的運営と安全性を図るために、議会の議決を経て指定金融機関を仙南信用金庫としている他、指定代理金融機関として七十七銀行・みやぎ仙南農業協同組合、収納代理金融機関としてゆうちょ銀行を指定しており、税金等の収納業務が行われている。

納税者の利便性向上として、個人町県民税（普通徴収分）・固定資産税・軽自動車税・国民健康保険税・上下水道使用料の5種目のコンビニ納付ができる。

また、令和6年9月からは、町民生活課窓口で各種証明書等交付手数料のキャッシュレス決済が可能となった。



会計課の事務の様子

○委員会所見
公金については、次に出されるまでの間、安全に確実な方法で保管・運用されることが望まれるとともに、公金の出納事務の遂行にあたっては、予算に基づいているか、規則に違反していないか等、厳密に審査を行い公金取扱いの適正化に努められたい。

上下水道事業について (5月14日実施)

産業建設常任委員会

■上下水道事業の概要

1. 上下水道事業

【現状】

本町では、相山浄水場内施設の老朽化や年々厳しくなる水質基準への対応及び施設投資の効率性を考慮し、平成18年度から全て仙南・仙塩広域水道用水供給事業からの受水で賄っている。

○給水人口等

(令和7年3月31日現在)

行政区域内人口	9,689人
給水区域内人口	9,629人
給水人口	9,431人
給水戸数	3,979戸
給水普及率	97・94%



相山浄水場事務所

2. 下水道事業の概要

本町の下水道事業は、阿武隈川下流域下水道事業（構成市町：仙台市・名取市・

岩沼市・角田市・白石市・柴田町・大河原町・村田町・蔵王町・丸森町・亘理町の5市6町）の関連公共下水道として昭和51年度に基本計画を策定し、翌年度より事業に着手して整備を図り、平成元年度より供用を開始している。



村田町上水道西原高区配水池

○委員会所見

老朽化した上水道の管路や高額な下水道の維持管理費等の現状課題を考えれば、上水道・下水道・工業用水道・農業集落排水の4つの事業を単独で維持していくことは困難と思われることから、将来的に近隣自治体との広域連携や民間のノウハウを活用した経営基盤の強化、サービスの維持が求められる。

常任委員会

社会教育(成人教育・助成教育及び青少年教育)の振興について(5月7日実施)

教育民生常任委員会

「人を育てる心豊かな教育」を掲げ、学校・家庭・地域が密接に連携した生涯学習の環境づくりを推進している。

■成人教育

終活や金融等、現代のニーズに即した講座を想定し、民間連携や講師ボランティアの活用で内容の充実を図る。

■地区婦人会

21行政区中2団体まで縮小。地域防災やコミュニティの要として、時代に合う新たな組織への再編が急務。

■青少年教育

伝統行事やキャンプ、ジュニア・リーダー養成等、多様な体験活動と多世代交流を通じた人づくりを軸に活動。

■子ども会

加入率は約6割まで低下。活動を維持・活性化させるため、講師謝金への助成等による自主的な教育活動を支援。

■むらたつ子応援団

学校支援や農業体験が定着する一方、ボランティアの高齢化が事業継続の課題。

題。

■歴史みらい館図書室

蔵書約2万冊。購入予算は15万円まで回復したが依然少なく、さらなる蔵書の充実が不可欠。



歴史みらい館図書室の充実を期待

○委員会所見

読書は人を育てる基盤である。購入予算を拡充し、新図書の実装を図ること。婦人会は地域防災やコミュニティの要。時代に合った新形態への移行を検討し、存続を図りたい。休止中の発見合宿は、工夫とアイデアでの早期再開を期待する。むらたつ子応援団の農業体験は米づくりも導入し、苗代等の実費支援を予算化することで、事業の継続性を確保すべきである。

令和8年度

仙南・宜理地方町議会

常任委員長研修会

【研修場所】 ベネシアンホテル白石蔵王

【研修期日】 7月15日～16日

【研修内容】

各議会常任委員長を対象とした研修会の1日目は、岩手県奥州市議会議員菅原由和氏の講演「奥州市議会の議会改革の実践」を聴講し、その後各議会の事例発表を行いました。2日目の分科会では、委員会ごとの情報・意見交換を行いました。



情報・意見交換会



事例発表

令和8年度

町村議会議員講座

【研修場所】 宮城県自治会館

【研修期日】 7月2日・3日

【研修内容】

2日間にわたって開催され、1日目は「人口減少時代の地方議会へのあり方」、2日目は「これからの地方議会と地方議員」の講義があり、それぞれ議員6名が参加し聴講しました。



7月3日



7月2日

A young woman with dark hair, wearing a red and black kimono with white accents, is smiling at the camera. She is holding a small black object in her hands. The background shows a crowd of people and greenery, suggesting an outdoor event.

委員 鈴木 宏

発行・編集責任者			
議	長	遠藤	実
議会広報編集特別委員会			
委員	長	高橋	勝
副委員	長	山家	寛二
委員		加藤喜太郎	
委員		大久保廣信	
委員		山家	大
委員		鈴木	宏
委員		鈴木	正信
委員		菊地	陸夫
委員		村上	登